

令和7年度 建築防災研修会・見学会（宮崎県）
見学コース（案）

令和7年7月11日（金）8:30～13:00（予定）

※定員90名（貸し切りバス：2台）

見学先：宮崎市内

① 宮崎県庁

・防災庁舎・本館・5号館

② ひなた宮崎県総合運動公園

・津波避難デッキ・高台

〔立ち寄り〕令和6年竜巻被害現場（宮崎市内）

集 合：8:30	JR宮崎駅（西口）
点 呼：8:30	～
出 発：8:40	JR宮崎駅

↓ （移動25分）

9:00

① 宮崎県庁 所要時間 1:30（県庁内移動時間含む）

- ・防災庁舎 （説明+見学）
- ・本館 （説明+見学）
- ・5号館 （説明+見学）
- ・他

0:15（予備）

10:45

↓ （移動25分）

11:10

② ひなた宮崎県総合運動公園 所要時間 1:00（公園内移動時間含む）

- ・津波避難デッキ （説明+見学）
- ・高台 （説明+見学）
- ・他

0:10（予備）

12:20

↓ （移動20分）

※道中、「過去の災害現場（令和6年竜巻被害現場付近）」立ち寄り（バス車内にて説明）。

↓ （移動20分）

13:00 解散（JR宮崎駅）

※行程時間は前後する可能性があります。

ふるって
ご参加
下さい!!

令和7年度 建築防災研修会 見学会 7/11（金）開催！

定員
先着 90名

①宮崎県庁（防災庁舎・本館・5号館）



防災庁舎・5号館

〈宮崎県防災庁舎〉

将来、発生が予想される南海トラフ巨大地震などの大規模災害発生時に、「市町村や政府、自衛隊・消防などの関係機関との連携の要」となる防災拠点庁舎として、十分な耐震性能やライフライン途絶時にも機能維持が可能で、長期間にわたり災害対応活動ができる庁舎となっています。また、基幹の設備の機械室は浸水リスクを考慮して10階とし、屋上にはヘリポートを設置しています。



本館

〈宮崎県庁本館・5号館 （旧宮崎農工銀行）〉

宮崎県庁舎（国登録有形文化財）は、本館（昭和7年竣工）をはじめ、複数棟で構成されています。5号館（移転・改修）や防災広場として活用される庭園とともに明治以降の宮崎発展のプロセスが重層する景観を形成しています。

②ひなた宮崎県運動公園（宮崎市内）

〈津波避難施設〉

津波から公園利用者を守る避難高台・避難デッキ
南海トラフ巨大地震などによる津波から公園利用者の安全を確保するため、中央広場に2つの避難高台があります。高さおよそ8メートル、広さは2つの高台をあわせて1万2000平方メートルで、2万3000人あまりが避難できます。また、避難施設はサンマリスタジアムや第1陸上競技場、テニスコート南側など、複数のエリアに設けられています。あわせておよそ6万1000人の収容が施設全体で可能です。



立ち寄り

令和6年竜巻被害現場付近（台風10号）（宮崎市内）

〈竜巻被害〉

宮崎県の平野部で、8月28日から29日にかけて、同時多発的に竜巻が発生しました。宮崎市や西都市など宮崎県内各地で建物が損傷し、およそ1700棟が被災しました。竜巻は台風に伴って発生するケースが全体の2割を占め、また台風の北東側で発生しやすいという統計データもあります。ちょうど、竜巻が発生した日時は台風が鹿児島県に上陸した頃に相当し、竜巻発生位置は台風中心からみて北東にあっていました。

●行程 〈貸切バス〉	【集合】 (8:30) JR宮崎駅 (東口)	(9:00) ①県庁	(11:10) ②ひなた宮崎県 総合運動公園	(12:20) 〔立ち寄り〕 宮崎市内	【解散】 (13:00) JR宮崎駅 (東口)
●参加費	3,500円（消費税込み、傷害保険料含む）				※行程時間は予定です。
●申込み	令和7年度建築防災研修会 同時申込（～6/10（火）迄） （一財）日本建築防災協会ホームページ申込みサイト： https://www.kenchiku-bosai.or.jp/workshop/kensyukai/annai-2025/				
●問い合わせ	担当：高際（e-mail: info@kenchiku-bosai.or.jp）				

